



しゅうぶん
【秋分】9月23日~10月7日頃

秋分の日（9月23日頃）は、暦の上では秋の半ばにあたります。秋がちょうど半分まで進んできたこの時期は、「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように、暑さがやっとおさまってくる頃です。足元では、涼しさを感じた虫たちがそろそろ冬籠りの準備を始めます。

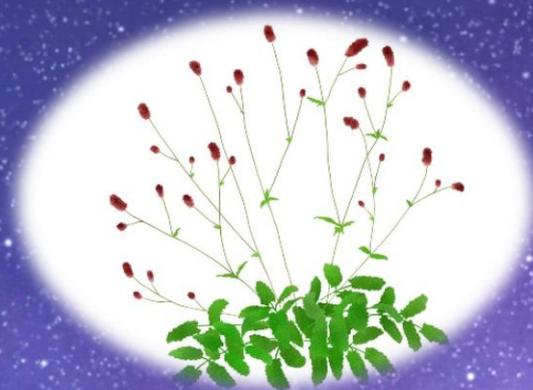
9月の行事【十五夜】——9月~10月上旬の満月の夜——

現在の暦でいうと9月から10月上旬の満月の夜が十五夜です。十五夜は一年で最も月がきれいに見える夜とされ、月が見える縁側や窓辺などに十五夜飾りを置き、「中秋の名月」を鑑賞します。一般的な十五夜飾りは、収穫を迎える稲穂の代わりにすすき、満月に見立てた月見団子、秋の収穫物である里いもや柿や栗など。

旬の花【ワレモコウ】

——【花言葉】 変化、もの思い、移りゆく日々——

山野などに自生するバラ科の多年草。夏から秋にかけて細い茎の先に小さな花が卵形に集まって咲き、花の色はこげ茶がかかった赤や紫色です。生花店に並び最盛期は9月。ドライフラワーにしても楽しめます。



9月の本「かがみの孤城」 辻村 深月 / 著

あなたを、助けたい。

学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところの目の前で、ある日突然部屋の鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはちょうどころと似た境遇の7人が集められていた——なぜこの7人が、なぜこの場所に。すべてが明らかになるとき、驚きとともに大きな感動に包まれる。生きづらさを感じているすべての人に贈る物語。

